

第2回坂井輪中学校区内小学校適正配置地域検討協議会

日時：平成24年5月13日13時～

会場：坂井輪中学校 ランチルーム

次 第

- 1 開 会
 - ・挨拶（原委員長）

- 2 今後の進め方について
 - ・委員会の設置

- 3 グループ討議
 - ・グループ討議の進め方の説明（目黒副委員長）
 - ・方策案毎にグループ討議

- 4 諸連絡
 - ・次回日程

- 5 閉 会
 - ・挨拶（原副委員長）

日程についての問い合わせ先

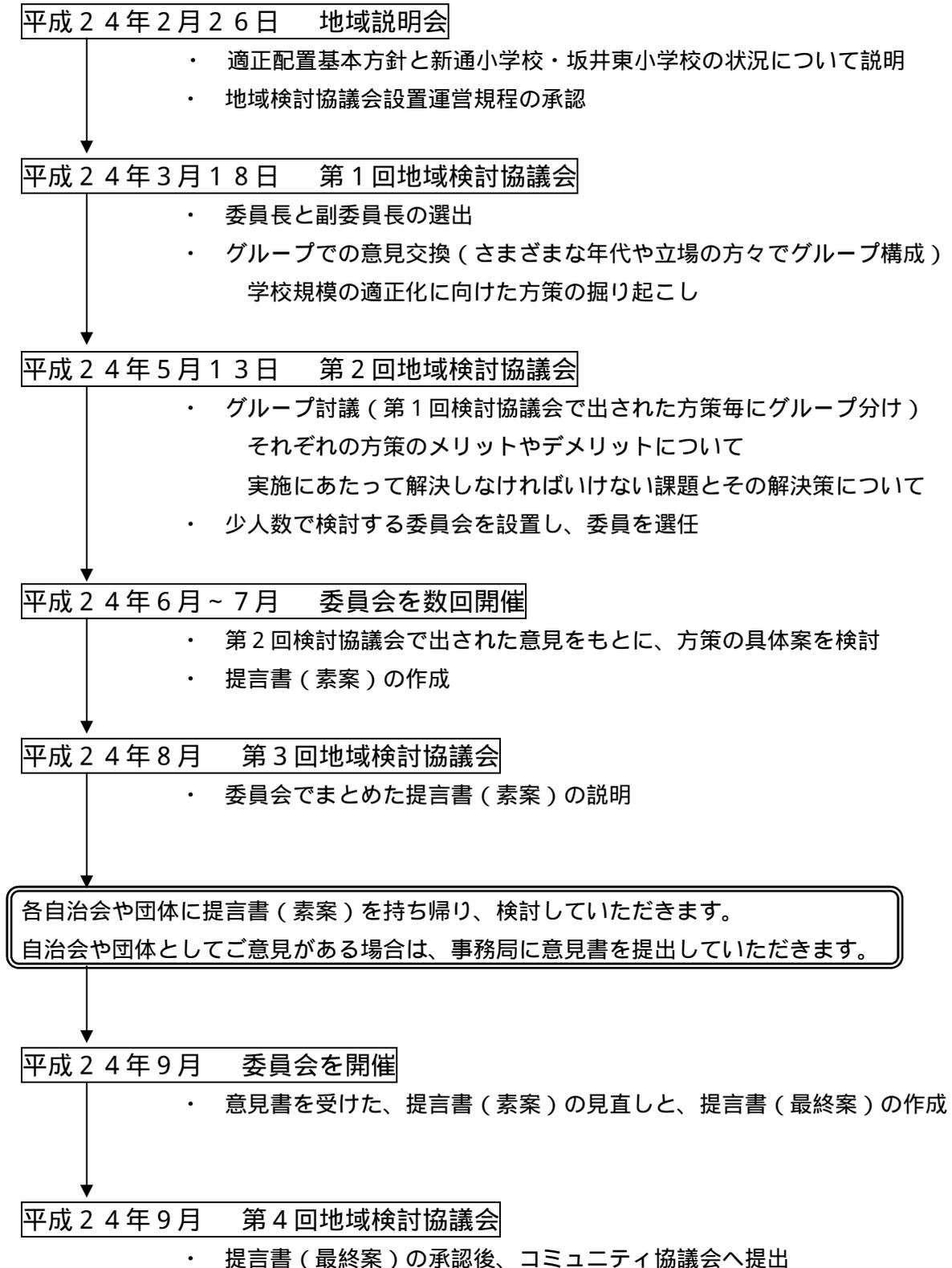
新潟市教育委員会教育総務課企画室

TEL：226-3178（直通）

URL：http://www.city.niigata.jp/info/kyoiku_somu/top/index.htm

（6月以降はURLが変更となる予定です。）

坂井輪中学校区内小学校適正配置地域検討協議会のながれ



今後の見通しを示したものであるので、地域検討協議会の話し合いの方向により、内容や時期、期間などが変更となる場合があります。

坂井輪中学校区内小学校適正配置地域検討協議会 設置及び運営規程

(目的及び設置)

第1条 新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、坂井輪中学校区内の新通小学校及び坂井東小学校の教育環境改善を目的として、学校規模に起因する課題の解決に向けた方策を協議し、具体的な提言をまとめるため、坂井輪中学校区内に地域検討協議会を設置する。

(名称)

第2条 この会の名称を坂井輪中学校区内小学校適正配置地域検討協議会(以下、「検討協議会」という。)とする。

(検討委員及び組織)

第3条 検討協議会の委員(以下、「検討委員」という。)は、坂井輪中学校区内の次の各号に示す団体より選出された者で構成する。

- (1) 新通小学校・坂井東小学校PTA
- (2) 域内自治会
- (3) 坂井輪中学校区コミュニティ協議会
- (4) 教育に関わる地域団体等

2 検討委員から、検討協議会の委員長1名及び副委員長若干名を検討委員の互選により選出する。

3 検討委員の任期は特に定めない。

(委員長等の任務)

第4条 委員長は、この検討協議会を統括する。

2 副委員長は、委員長を補佐して検討協議会の運営にあたり、委員長に事故あるときは、予め定めた順位によりその職を代行する。

3 その他、委員長の認めるところにより必要な役職をおき、その任務は委員長が定める。

(会議)

第5条 この検討協議会の会議は委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員長が必要と認めた者は検討協議会の会議に出席し、委員長または検討委員の求めにより発言することができる。

(委員会)

第6条 委員長は、必要に応じて検討協議会内に委員会を置くことができる。

2 委員会を構成する委員は委員長が選任し、検討協議会の承認を得る。

3 委員会は委員長が進行する。

4 委員会は委員長が招集し、委員の過半数をもって成立する。

5 委員会における会議の内容は、委員長が適宜検討協議会に報告し、協議の上承認を得る。

6 委員長が必要と認めた者は委員会に出席し、委員長または委員の求めにより発言することができる。

(会議等の公開)

第7条 この検討協議会及び委員会の会議は、公開を原則とする。

2 検討協議会の会議は出席検討委員の過半数の同意により、委員会の会議は出席委員の過半数の同意により非公開とすることができる。

(その他)

第8条 この規程に定めるものの他、検討協議会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

2 検討協議会の事務局を、坂井輪中学校区コミュニティ協議会に置く。

3 事務局実務は、新潟市教育委員会と分担する。

附則

この規程は、平成24年2月26日より施行する。

グループ討議の進め方

- グループとして、最終的な結論を出す必要はありません。
- 各検討委員が、自分の意見を言い尽くし、他の委員の意見を聞きつくし、検討委員が相互に理解を深め合うことが大切です。
- このグループ討議で出された意見は、「提言書(案)作り委員会」で集約し、提言書(素案)作成に反映します。

1 メリットを考える

検討時間の目安 30分程度

- 手順1 テーマとなっている方策のメリットを考え、**黄色の付箋**に書きます。
できるだけたくさん記入して下さい。
(その他の方策のグループは、方策案についても記入していただきます)
- 手順2 記入した付箋を、大洋紙の決められた場所に貼り付けます。
同じような意見は、隣り合わせて貼り付けて下さい。
- 手順3 順番に、自分の意見(付箋に書いた内容)をグループ内の委員に、簡潔に説明します。
- 手順4 全員の説明が終わったら、説明を聞いて補足する点や、感じたことを話し合います。
重要な意見は、記録に残すため、**黄色の付箋**に記入します。

2 デメリットと課題を考える

検討時間の目安 30分程度

- 手順1 テーマとなっている方策のデメリットや実施することで生じる問題、実施するために解決しなければならない課題を**水色の付箋**に書きます。
各委員が、必ず1つは記入して下さい。
- 手順2 記入した付箋を大洋紙の決められた場所に貼り付けます。
同じような意見は、隣り合わせて貼り付けて下さい。
- 手順3 順番に、自分の意見(付箋に書いた内容)をグループ内の委員に、簡潔に説明します。
- 手順4 全員の説明が終わったら、説明を聞いて補足する点や、感じたことを話し合います。
重要な意見は、記録に残すため、**水色の付箋**に記入します。

3 解決策を考える

検討時間の目安 30分程度

- 手順1 「2 デメリットと課題を考える」に対する解決策を**ピンクの付箋**に書きます。
- 手順2 記入した付箋を対応するデメリットや課題の付箋の隣に貼り付けます。
- 手順3 順番に、自分の意見(付箋に書いた内容)をグループ内の委員に、簡潔に説明します。
- 手順4 全員の説明が終わったら、説明を聞いて補足する点や、感じたことを話し合います。
また、付箋の貼られなかったデメリットや課題の解決策を全員で考えます。
全員で考えた解決策や重要な意見は、記録に残すため、**ピンクの付箋**に記入します。

4 グループ討議の内容を委員会に引き継ぐ

検討時間の目安 15分程度

- 手順1 グループの中から、「提言書(案)作り委員会」に参加する検討委員を選出します。
- 手順2 「1.メリット」「2.デメリットと解決策」で出された意見(付箋に書いた内容やグループで考えた解決策)を提出用の用紙に記入します。